

## 大腸菌由来の無機ピロリン酸加水分解酵素、組換え型

Cat. No. NATE-0355

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1つのピロリン酸分子を2つのリン酸イオンに交換する反応を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反応であり、したがって、これらの交換を完了させるために好ましくない生化学的交換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウム吸収と骨形成、DNA合成、さらには他の生化学的交換において重要な役割を果たします。

**用途** 無機ピロリン酸加水分解酵素（PPase）は、 $PPi + H_2O \rightarrow 2Pi$ という反応を触媒する遍在する酵素です。これは、タンパク質、RNA、およびDNAの合成において重要な役割を果たします。

**別名** ピロリン酸ホスホヒドrolラーゼ; 無機ピロリン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.1; 9024-82-2; iphosphateホスホヒドrolラーゼ

### 製品情報

<b>種</b>	大腸菌
<b>由来</b>	E. coli
<b>形態</b>	プロテアーゼ阻害剤を含むトリス緩衝塩の凍結乾燥粉末
<b>EC番号</b>	EC 3.6.1.1
<b>CAS登録番号</b>	9024-82-2
<b>純度</b>	> 90%
<b>活性</b>	> 800 ユニット/mg タンパク質
<b>単位定義</b>	1ユニットは、25°CでpH 9の条件下で1分あたり1.0μモルの無機オルトリン酸を放出します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°C